

## 市民相互の触れ合いの一助

市民号 4年ぶりの開催

10月31日・11月1日の1泊2日の日程で、115人が「第41回牛久市民号」に参加しました。1日目は色づきはじめた龍王峡の紅葉を楽しみ、湯西川温泉で旅の疲れを癒しました。2日目は大谷資料館で地下30mに広がる大谷石の採掘場跡などを見学しました。4年ぶりの開催となりましたが地域の垣根を超え、秋色の栃木路を満喫しました。



## 誰もが暮らしやすいまちへ

牛久市障害者連合会が要望書提出

11月6日、市障害者連合会が沼田市長に障がい者福祉に関する要望書を手渡しました。要望書では障がい児・者に寄り添った福祉サービスの充実、相談支援機関ふくたのぶひさの強化等を求めています。福田進久ふくたのぶひさ会長は「障がいの当事者・支援者が、より充実した日常生活を送ることができる福祉施策の充実を図ってほしい」と話しました。



## 全国大会16強進出！

うしくゴールデンボーイズ

「第37回全日本還暦軟式野球選手権大会」が、10月13日から水戸市総合運動公園野球場他7球場で開催され、全国から64チームが出場しました。前回全国制覇を成し遂げた「うしくゴールデンボーイズ」は3回戦、東京都代表に4対5で惜敗し、16強進出で大会を終えました。この経験を活かし、もう一度全国大会優勝を目指し練習に励みます。



## 夏休み中に取り組んだ力作ぞろいです

### ●交通安全、防犯作品コンクール

◆防犯作品(小学生低学年)



市村 全さん  
(岡田小1年)

◆交通安全作品



井上 羽南さん  
(ひたち野うしく小6年)

◆防犯作品(小学生高学年)



上本 翔さん  
(岡田小5年)

◆防犯作品(中学生)



鎌田 真衣さん  
(ひたち野うしく中2年)

◆交通安全作品

「黄しんごう ダッシュじゃなくて 止まれだよ」

旭 優梨子さん(ひたち野うしく小5年)

◆防犯作品(小学生低学年)

「ふしんしゃに 心のカギは あけないで」

佐藤 奈緒さん(中根小3年)

◆防犯作品(小学生高学年)

「決めておこう 詐欺撃退の あいことば」

齊藤 漣さん(岡田小6年)

### ●地域安全運動防犯ポスターコンクール

〔少年非行防止の部〕

最優秀賞

坪 もものさん

(ひたち野うしく中2年)

他6人が入賞しました。

※主催：茨城県防犯協会



### ●「社会を明るくする運動」作文【入賞者】

- ・八木橋 ののはさん(牛久小6年) ・本田 そらさん(岡田小6年)
- ・横須賀 花笑さん(牛久二小5年) ・佐々木 雅守さん(中根小4年)
- ・高柳 俊太さん(向台小6年) ・山崎 菜穂さん(神谷小6年)
- ・高原 千聖さん(ひたち野うしく小5年)
- ・雑賀 紫音さん(牛久一中2年) ・上田 虎汰さん(牛久三中1年)
- ・鈴木 日菜さん(下根中1年) ・佐藤 柚羽さん(牛久南中1年)
- ・阿久津 沙文さん(ひたち野うしく中1年)
- ・坂本 悠莉さん(おくの義務教育学校9年)

※主催：龍ヶ崎地区保護司会牛久分区、牛久市更生保護女性会



その他の受賞作品は市ホームページでご覧になれます。

## おめでとうございます！ W杯優勝！

荻原大翔さんスノーボードビッグエア

10月21日にスイスのクールにて行われたスノーボードビッグエア ワールドカップ開幕戦で、牛久市出身の荻原大翔さんが初優勝しました。

それを記念し、11月2日～17日の期間、市役所正面玄関脇に懸垂幕を掲揚しました。

荻原さんの今後の活躍に更に期待が高まります。



## コンサート中に大地震が発生したら!?

避難訓練コンサートを実施

11月11日、中央生涯学習センター文化ホールで、「舞台本番中に災害が起こったら…」という想定で茨城県警察音楽隊を招いて避難訓練コンサートを開催しました。およそ400人の観覧者は、どのタイミングで避難が始まるかは知らされていない中、職員の指示に従いスムーズに避難を行いました。



## 牛久シャッターをきれいに

日本メクトロン(株)と(株)MEK-Jが環境美化活動

10月28日、日本メクトロン(株)と(株)MEK-Jの社員とご家族による牛久シャッターの除草作業が行われました。(株)MEK-J田中邦夫代表取締役社長は「牛久市の皆さんに愛される企業となりますよう、今後も環境美化活動を進めてまいります」と話しました。



## ウクライナってどんな国？

牛久市国際交流協会都市交流部会主催・国際理解教育講座

11月10日、国際理解教育講座「ウクライナってどんな国？」が開催され、当日は高校生から大人まで総勢59人が参加。講師のトロプチン・ニキタ氏からウクライナの文化や言葉について学びました。講義中には参加者全員で平和への祈りを込めて折り鶴を折り、和やかな交流となりました。



## 宝くじ助成金をコミュニティ活動に活用

宝くじの社会貢献広報事業として一般財団法人自治総合センターが宝くじの受託事業収入を財源に実施している助成金を活用し、行政区や自主防災組織で備品を整備しました。これにより今後一層、地域コミュニティ活動の充実や、安心して暮らせる地域づくりが進むことが期待されます。

### ●神谷行政区、栄西行政区で活用

神谷行政区では冷蔵庫・掃除機・大型スクリーンなど全12種類、栄西行政区では祭用半纏・テント・物置など全13種類の備品を整備しました。

